



「GBRCビジョン&アクションプラン2030」を策定しました

当法人（以下、GBRC）は、1964年の創設以来長年にわたり第三者機関として公正中立を厳守し、高品質で信頼性のある試験・研究、評価、審査、認証および情報普及等を通じて建築の質の向上に寄与してきました。それにより安全で安心な生活の場の構築に貢献してきた歴史と自負、そして豊富な人的ネットワークを有しています。現在、2014年に策定された長期経営計画の途上ではありますが、このたび2021年度に終了する現中期事業計画の見直しに併せ、社会ニーズの変化が激しい時代背景のもと、10年先を見据えた新たな長期経営計画としてまとめ上げましたのが「GBRCビジョン2030」となります。

【GBRCビジョン2030】

全職員が生き活きと活躍し、試験研究・製品認証・確認評定・構造判定の総合力を発揮することにより、わが国が直面する社会課題の解決に貢献する、試験設備を持つ第三者機関として他の追随を許さない唯一の存在をめざします。

わが国の建設市場は、新設から社会インフラ再構築へ視点が移り、2030年に向けてはSDGsやESGなど持続可能な社会を構築するための開発目標が示されています。このパラダイムシフトを敏感に捉え、試験設備を持つ第三者機関として他の追随を許さない独自性の高い業務を展開することで、GBRCの社会的価値をさらに高めることを目標と致しました。

このGBRCビジョン2030の実現に向けては、事業および財務目標からなるスローガンを設定しました。これらの目標を達成するために、各事業部門や法人全体として今後取り組むべき課題の骨子を検討し、この目標達成に向けた具体の行動計画を示したのが「GBRCアクションプラン2030」です。公益性を保持しつつ、事業収益拡大とともに確実に利益を確保し、将来にわたる成長戦略を描きます。見かけの利益や規模拡大を追い求めるという功利的観点からではなく、法人設立の理念に照らして、その社会的責任を果たしつつ、より積極的にあるべき姿をめざし、不断に自己変革することこそがGBRCの持続的発展の糧と位置付けました。このアクションプランはコンサバティブで達成確実なものではなく、長期の成長戦略のなかでチャレンジングな計画と目標をコミットし、役職員双方で共有して取り組んでいくものと捉えています。

2030年に向けて、働き方改革により各自の個性を伸ばし、全職員が生き活きと活躍する働きがいのある職場づくりが最優先の課題であることは論を俟たないと考えています。組織のあり方については、個人の進歩なくして組織の発展はなく、また、組織の成長なくして個人の充実はないと考えています。各人各様の特性に応じた能力開発と働き甲斐のある職場づくり、GBRCの将来像を見据えた育成計画と人事評価制度の確立も大きな課題であります。これらの暖かい人間関係とそれを支える職場づくりが強靭な組織力を生み出す活力であると考えています。

GBRCが従前から掲げる社会貢献の理念を踏襲し、法人の社会的価値およびサービスに対する顧客からの信頼性を高めるためにも、GBRCビジョン2030の実現に向けて取り組むとともに、その成果を法人内外へ発信します。

GBRCビジョン&アクションプラン 2030 の概要

【経営の考え方】

